

# 公共施設マネジメント推進検討委員会の 設置及び目的について

---

伊丹市

令和3年10月29日

# 1. 公共施設マネジメント推進検討委員会の設置について

## 諮問内容：伊丹市公共施設等総合管理計画の中間見直しについて

本市のこれまでの公共施設マネジメントにかかる取組成果を評価したうえで、公共施設を取り巻く社会経済情勢の変化を踏まえ、伊丹市公共施設等総合管理計画（基本計画）の見直しについて提言をいただくこと

### (1) 背景

#### 施設の老朽化

高度成長期（30～40年前）に集中的に整備された施設の老朽化が進行中

#### これまでの取組

機能移転等により将来負担は減少。床面積はH22年度比で増加。

#### 社会情勢の変化

伊丹市の人口は微増で推移。有利な財源、新型コロナ、DX、環境配慮等。

 **資料3・4** で詳細を説明

### (2) 議論にあたっての視点

#### ① 今後の社会動態を踏まえた視点

（人口推移、少子高齢化、医療・介護など社会保障経費の増加、新型コロナ、DX、環境配慮）

#### ② 市民ニーズ・ライフスタイルの変化への対応の視点

（働き方の変化（共働き）、行政サービスの変化、新しい生活様式）

#### ③ サービス向上・まちづくりに繋がる視点

（面積削減だけではなく、魅力あるまちづくりに繋がる施設の有効活用（収入の確保も含め））

## 2. 委員会設置の目的について

### 伊丹市公共施設マネジメント基本条例（抜粋）

#### 第1条（目的）

この条例は、公共施設の老朽化の進展が市民の生活及び市の将来の行財政運営に重大な影響を及ぼすおそれがあることに鑑み、公共施設の管理に関し、基本理念、基本的な計画の策定その他の基本となる事項を定めることにより、**安定的で持続可能な行財政運営を図る**とともに、魅力あるまちづくりの基盤となる**公共施設を将来にわたって適切に維持管理すること**を目的とする。

#### 目的① 持続可能な行財政運営

- 少子高齢化の進展に伴う税収の減少
- 全ての施設を改修・建替える場合、大幅な収支不足に陥ることに
- 将来を見据えた適切な数値目標を設定すべき

#### 目的② 公共施設の適切な維持管理

- 公共施設の老朽化は今後本格化
- 限られた財源で、優先順位をつけて施設を維持管理する必要
- 優先順位の決定プロセスが明確化されていない

現状・課題

対応

社会経済情勢の変化を踏まえた  
数値目標の見直し

優先順位の考え方を明確化  
(施設評価フローを追加)

### 3. 委員会等のスケジュール

